

港湾振興便り



2023. 9

第196号

*:**

目 次

*:**~

1 ポートエッセイ — ウイルスの脅威 —

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

2 トピック

●「新潟港海岸(西海岸地区)整備事業の完了式典」を開催しました

～よみがえった砂浜と未来への利活用～

(北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所)

●「潮乃森ビーチフェスタ 2023」を開催しました

(沖縄市 建設部 東部海浜開発局)

3 お知らせ

◇イベント名: ザ・シンポジウムみなと in 石狩湾新港

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*~

1 ポートエッセイ — ウイルスの脅威 —

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

::*:*:*:*:*:*~

2020年に始まった新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが、2類から5類へ移行し、様々な制約が解除された。ようやく日常生活もコロナ禍前の日常が戻りつつある。しかしウイルスが無くなったわけではなく、相変わらず感染防止の対応は求められている。

一方、コンピューターを感染させるウイルス、ランサムウェアと呼ばれる身代金要求型ウイルスは近年増加傾向にあるようだ。最近では、ランサムウェアにより港湾のコンテナターミナルのシステムに障害が生じ、2日ほどターミナルクローズが続き、コンテナの搬出入が全く出来ない状態となった。この種のサイバー攻撃は国内外を問わず、港湾のみならず、病院、大学、公的機関などへの攻撃も後を絶たない。

政府は情報通信、金融、航空、空港、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流、化学、クレジット、石油の 14 の分野を国民生活や経済活動の基盤となるインフラのうち、機能が停止したり、低下したりすれば特に大きな混乱を招くと見込まれるとして重要インフラ分野と位置づけている。このうちの「物流」が今回のターゲットとなった。実際物流が滞ったことにより自動車メーカーで一部稼働停止が起き

た。サイバー攻撃の恐ろしさをあらためて認識させられた。

近年日本は少子化、人口減少という深刻な問題に直面している。中でも労働力不足は持続可能な社会の実現への課題の一つでもあり、その対策の一つとして各企業や自治体でデジタル化を推進している。

新潟市でも「新潟市デジタル化基本方針」を策定し、「デジタル技術やデータを活用し、市民一人ひとりの暮らしをよりよくしつづける」を目指し、その実現に向けた取り組みを行っている。

世界的にも遅れていると言われている日本のデジタル化だけにその推進にスピードが求められているが、デジタルトランスフォーメーション(DX)によってもたらされる便利で豊かな社会には、サイバー攻撃等のデジタルリスクもその裏には潜んでおり、社会的な損失のリスクの肥大化が懸念される。

デジタル化を進める企業や自治体には高度化・巧妙化するサイバー攻撃への対応がより一層求められている。

:

2 トピック

*:**

●「新潟港海岸(西海岸地区)整備事業の完了式典」を開催しました

～よみがえった砂浜と未来への利活用～

(北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所)

令和5年7月29日(土)、新潟市内のホテルにおいて新潟港海岸(西海岸地区)直轄海岸保全施設整備事業完了式典を挙行了しました。

当該海岸は、明治から昭和にかけて海岸線が最大 350m も後退した日本有数の侵食海岸であり、日本海側特有の冬季風浪などによる越波・浸水被害から背後地域の生命や財産を守るべく、北陸地方整備局では、昭和61年度から海岸の侵食対策とともに景観や海岸利用にも配慮した砂浜の再生整備に取り組み、このほど完了しました。

式典は、地元中学校吹奏楽部による演奏から始まり、清水国土交通大臣政務官や花角新潟県知事、中原新潟市長をはじめ、地元選出国會議員など多くの皆様に御出席いただきました。その後、35年前に起工式が行われた新潟西海岸公園(日和山浜)に移動し、来賓の方々と地元小中学生によるくす玉開披を行い盛大にお祝いました。

事業の完了により、背後地域の侵食や浸水被害が解消され、砂浜が復元されたことで、海水浴、レクリエーションなど様々な海岸の利活用が可能となりました。



地元柳都(りゅうと)中学校吹奏楽部による演奏



くす玉開披

●「潮乃森ビーチフェスタ 2023」を開催しました

(沖縄市 建設部 東部海浜開発局)

令和5年8月12日(土)・13日(日)、沖縄本島中部の東海岸沖合で整備中の人工島「潮乃森」において、「潮乃森ビーチフェスタ2023」を開催しました。

潮乃森には、完成すると県内最大級となる900mの人工ビーチを有しており、沖縄市ではそのビーチが誇る白い砂浜とコバルトブルーの海が織りなすロケーションを活かしたまちづくりを目指しています。

ビーチがメイン会場となる本イベントは、前週の大きな台風により開催が危ぶまれましたが、共に事業を行う内閣府沖縄総合事務局、沖縄県の御協力のもと、無事に開催することができました。

イベントでは、海水浴はもちろん、バナナボートやステージパフォーマンス、ビーチでの宝探しなど、海やビーチで多彩なコンテンツを楽しんでいただくとともに、キッチンカーを充実させ、今年は初めて酒類の提供も行っており、沖縄市内外を問わず、こどもにも大人にも大変満足いただけました。

2日間の来場者は約3400名で、昨年の1.7倍と大幅に伸びており、潮乃森への注目度が増してきていると感じております。

今後もイベントなどを通して、より多くの人々に潮乃森の魅力を伝え、沖縄市が目指すまちづくりの機運を醸成してまいります。



潮乃森が誇る白い砂浜とコバルトブルーの海



ビーチに突如出現した船を模した巨大なエアースリ台



海水浴やバナナボートを楽しむ来場者



潮乃森ビーチフェスタを盛り上げるステージパフォーマンス

